

# 「情報I」の力を総合的な探究で活用するには？ ～受験や社会につなげるために～

2024

5.18 (土)



## 講師 鹿野 利春(かの としはる)

(一社)デジタル人材共創連盟 代表理事 / 京都精華大学メディア表現学部教授 / 文部科学省初等中等教育局視学委員

石川県内の公立高校、石川県教育委員会事務局を経て、2015年に文部科学省初等中等教育局 高等学校情報科教科調査官を務め、「情報I」「情報II」などの学習指導要領の取りまとめや、GIGAスクール構想、情報活用能力の育成などを担当。

2020年より大阪芸術大学アートサイエンス学科客員教授、2021年より京都精華大学メディア表現学部教授、文部科学省初等中等教育局視学委員、情報活用能力調査委員、実教出版編集顧問、Life is Tech! 株式会社顧問。2022年より(一社)デジタル人材共創連盟代表理事を務める。

## 概要

高校では「情報I」の授業が始まりました。情報Iでは問題の発見・解決、情報デザイン、データの活用、プログラミングなどを学びます。しかし1年生で「情報I」を履修した後、3年生の受験までの間に空白期間があります。その空白を埋めるために2年生の総合的な探究の時間で「情報I」で学習した力を活かしていく必要があります。ただ、まだまだ知見が多いとは言えない現状です。今回は「カリキュラム・マネジメント」の観点も取り入れ、子どもたちがいま勉強していることと社会のつながりを感じながら学ぶためのヒントを探っていきます。「情報I」×「探究」で、大学入試や社会での活用を見据え、子どもたちが「自分の力で人生や社会をよりよくできる」という実感を持てるようなカリキュラムをどのように創っていくのかを一緒に考えませんか？

## スケジュール

- 15:00～ : 受付開始  
15:30～15:35 : 挨拶  
(一社)デジタル人材共創連盟 代表理事 鹿野 利春氏  
15:35～16:05 : 基調講演  
入試や社会につながるカリキュラム・マネジメント  
～総合的な探究の時間で「情報I」の学びを活かす～  
(一社)デジタル人材共創連盟 代表理事 鹿野 利春氏  
16:05～17:05 : 公教育での先進的取組み紹介  
○「身の回りの問題解決を実現する、「情報I」×「探究」の実践事例」  
ライフステック株式会社 専務執行役員  
丸本 徳之氏  
○「女子中高で取り組んだカワイイプログラミングと問題解決に向けた発展事例」  
樟蔭中学校・高等学校 中高ICT主幹・ICT Lab.コーディネーター  
川浪 隆之氏  
17:05～17:25 : パネルディスカッション (質疑応答も含む)  
総合的な探究の時間で「情報I」の学びを活かすためには？  
鹿野 利春氏 / 丸本 徳之氏 / 川浪 隆之氏  
17:25～17:30 : 事務局からのご案内  
17:30 : 閉会

## 申込方法

以下URL もしくは QRコードより  
予約フォームにアクセスしてください。  
予約期限：5月15日(水) 12:00まで  
<https://forms.gle/Z5JTGznyj2cFktZZ6>  
※Zoomの招待コード等は後日送付予定



## 会場・アクセス

大阪教育大学 みらい教育共創館 3階 未来型教室



## 対象・定員

学校関係者・学校支援人材  
(対面・Zoom併用 対面定員：35名)

【お問い合わせ先】

大阪教育大学 未来教育共創戦略担当室  
Mail : mirai@bur.osaka-kyoiku.ac.jp